

平成24年度

診療ガイドライン・薬剤コース

歴史的な大震災とそれに伴う原子力発電所の事故などで、私たちの生活は連日脅かされています。そんな毎日の中で私たち薬剤師は、どのように国民の生活を守っていけばよいでしょうか。

この講座は、薬剤師・医療を取り巻く環境の変化に対応した新しいエビデンスに基づく診療ガイドラインを学ぶとともに、かつて学んだ知識をもう一度、時代のニーズに合った形で復習できるよう編集しています。ガイドラインと薬物療法の履修により、基礎力の養成を行うことで、よりよい服薬指導はもちろんのこと、セルフメディケーションのためのアドバイスにも役立ちます。忙しい合間、在宅での学習機会に利用できます。会員の皆様が、参加しやすく、学習しやすい上、多くの単位を取得できる魅力ある講座です。なお、この研修講座は、(社)日本薬剤師会から後援をいただいております。

診療ガイドライン・薬剤コースの学習内容がリニューアル!!

従来の学習に新シリーズを追加、さらに内容が充実します!!

新しいエビデンスに基づく 治療法を学ぼう!

『治療の実際の解説』
(専門医の立場から)

『疾患・疾病の症状の実際と看護』
(看護の立場から)

『疾患別レシピ：生きることは食べること』
(栄養の立場から)

『免疫と薬剤』
(薬剤師の立場から)

新シリーズ 1

『症候別アプローチ』

現役の医学部の先生(医師)に実際に医学部の授業で行っている『診断のための手順』を基に患者への適切な対応を解説していただきます。

発熱	咳嗽
頭痛	悪心・嘔吐
腹痛・急性腹症	下痢・便秘
尿失禁・排尿障害	発疹



『もう一度剤形を学ぼう』

一つの薬剤にも多くの異なる剤形があります。同じ効果を発揮するために工夫されていることやその成り立ちについてもう一度考えてみましょう。

新シリーズ 2

医学部・薬学部教授の監修によりテキストを作成!

「演習問題」の解答を添削してお返りする双方向性の学習形態!

日本薬剤師研修センターより「通信講座研修単位」10単位+α(計15単位予定)を取得できます*

募集要項

募集対象者 日本女性薬剤師会会員・他、男性も可
募集期間 (締切日) ~平成24年3月16日(厳守)
応募方法 各都道府県女性薬剤師会を通じてお申し込みください。
受講料 女性薬剤師会会員 **14,000円** 会員以外の方 **16,000円**
※女性薬剤師会が組織化されていない県の方は、本部事務局へお申込み下さい。

講座のシステム

受講期間 平成24年4月~平成25年3月
学習内容 ①年間送付される8冊のテキストに基づいて学習(1冊140分以上の学習)
 ②1冊の学習終了後、演習問題に解答し郵送(添削後返送)
 ③スクーリング講座への出席(年間1回)※受講料別途
取得単位 通信講座研修単位 10+α(計15単位予定)
 テキストによる学習終了後、研修成果のレポート提出
履修証明 ①~③の全課程をクリアすると「履修認定証」を交付

学習疾患スケジュール

最新ガイドラインによる学習スケジュールは予告なく変更する場合があります。

平成24年 4月	甲状腺：今、原発の影響を考える
5月	睡眠時無呼吸症候群：セルフケアの重要性
6月	リウマチ：早期診断と医療師の連携
7月	小児呼吸器：初期抗菌薬療法の重要性
10月	胃がん：補助化学療法の向上を目指して
11月	脳卒中：リハビリテーションと薬物療法
12月	てんかん：基本薬の使い方と切り替え薬
平成25年 1月	めまい：基本は薬物療法

※8・9・2・3月はスクーリング講座への出席と復習にあてると。

A5版で
持ち歩きに便利
辞書としても
活用できます!

※平成22・23年度通信講座を申請した方で、演習問題の添削を希望しない方・スクーリング講座に出席できない方は、このテキストを使って自己研修をお勧めします。5単位取得できます。